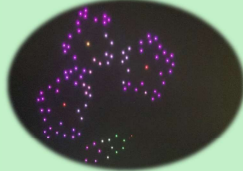


巡れ！循環！！

～地域とつながる高校生～

京都府立洛西高等学校 洛再Links同好会

現在は大量にモノを作って、大量にモノを捨てる大量消費社会になってしまっています。私たちは限りある資源を大量に消費してしまう事は「環境に良くない」「もったいない！」と思いました。モノの消費だけが問題ではありません。洛西高校周辺の地域では少子高齢化によるコミュニティの縮小が、地域の清掃活動や農家の方々への負担を大きくしています。そこで私たち高校生は環境に負荷のかからないサイクルである「循環」を作り出そう！、地域内外を問わずたくさんの人の役に立ちたい！と思い、様々な活動を行っています。



実際に校内で生徒に向けた服の無料配布も行いました！

服の回収、無料配布

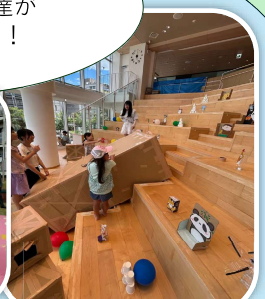


生徒や保護者が着なくなった服を回収し、学校内だけでなく学校外のイベントでも無料配布しています！服をもらった人にはその服を寄付した人の顔はわからないけど、服を通して確かにその人たちの間には繋がりができていると思いました。

子供向けワークショップ



小さな子どもや小学生までたくさんの子供達が来てくれました！



使われなくなった廃材を使って子供向けのワークショップの運営を行っています！高校生がお客さんに現在の社会問題を伝えることで、その問題について知ってもらおうと同時に、若者から見た社会問題への解決策などを提案する機会になっていくと考えています。

堆肥作り



集めたタニシは燃やしてLinksで育てている畑に肥料として使っています！

害獣のジャンボタニシを獲って放置竹林の竹と燃やすことでジャンタケ肥料として活用したり、学校近くの落ち葉を拾ったりするなど地域の方々と連携しながら堆肥作りをしています。

まとめ 私たち高校生は、普段の学校生活で、使い終わったモノがどのように処分されているのかなどのモノの「循環」について学ぶ機会が少なく感じていました。そんな中で、これらの活動を通して「誰かの不要なモノを誰かの必要なモノに変える」というのはもちろん、「環境問題について学んだことを別の人に伝えていく」ということも「循環」と言えるのではないのか、と考えました。実際に京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地での活動では教授の方から植物の知識をたくさん教わりました。そこで学んだことを子どもたちに伝えるために、ゲーム感覚で楽しく学べるイベントを催しました。それだけでなく校内で行った「ドローンショー」や循環イベント「洛サイクル」には今までお世話になった地域の方々や農家さんが来てくださりました。人とのつながり、活動の意義を改めて感じる事ができました。